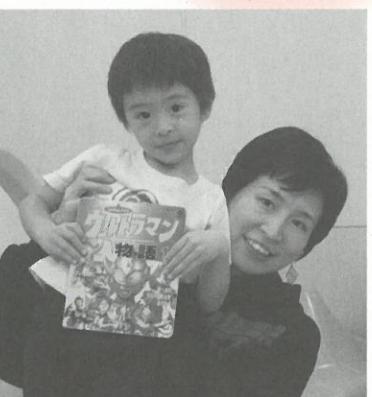


# 育児がもっと楽しくなる！

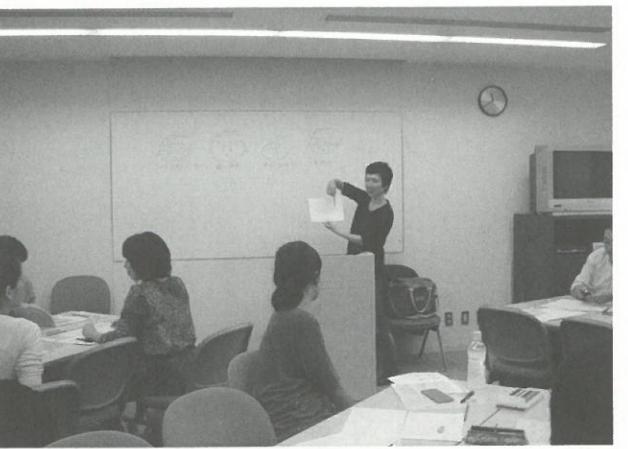
## 初めての「ミニックエッセイ」で かんたんイラストで



工藤 亜沙子さん

台東区在住。イラストレーター。一児の母。自身のサイト「ヤマハチ図案」URL:<http://www.k4.dion.ne.jp/~yama8/top.html>に子どもの観察日記を4コマコミックで連載中。

好評だったこの講座は託児付きで1回2時間。3週にわたって行われました。



講座2回目

講師の工藤さんの説明は具体的でわかりやすい



講座3回目

どんな話にしようかしら……

受講生のみなさんの作品の一部です



完成した作品はどれも頷ける話ばかり

それぞれ子育てのシチュエーションを絵に描き、お話を仕上げていきます。誰もが描きたいことがたくさんある様子。受講生一人ひとり、講

いよいよ最終回。できあがった作品の鑑賞会です。台風接近による悪天候にもかかわらず、集まつた受講生たちはお互いの作品を見ながら、わいわいと子育て談義。作品のエピソードに「あるある」と頷いたり、笑顔があふれる楽しい講座になりました。

● 今回紹介した講座は、日々の子育ての苦労や笑えるエピソードなどをかんたんなイラストで表現し、子育て仲間同士で分かち合い、自分らしい育児を楽しむことを目的として実施しました。

● 地域のチカラ講座事業は、男女平等の推進や地域の人材育成を目的に、区民の方が講師となることを企画・実施するものです。

※ 応募・問合せ

男女平等推進プラザ「はばたき21」

☎ 03 (5246) 5816

昨年度行われた“地域のチカラ講座”的ひとつ「かんたんイラストで初めてのミニックエッセイ」は、受講生の満足度大。「お互いの育児ネタをおしゃべりできて楽しかった」「先生のマネをするだけでかわいくエッセイ風に描けた」「日常生活の中で気楽にイラストを描けるようになれた」「イライラしがちな子どもたちが子育ての話をしながら、気軽に絵を描けるようになる講座にしたいと思っていました。そして、3回あれば、最終的に4コマのミニックエッセイにできるのでないかと、組み立ててみました。」

――具体的な内容は当初から決まっていたのですか？  
「参加した方たちが子育ての話をしながら、気軽に絵を描けるようになる講座にしたいと思っていました。そして、3回あれば、最終的に4コマのミニックエッセイにできるのでないかと、組み立ててみました。」

最初は絵を描いた経験のある方とない方とで差がありました。最後は全員が作品として仕上げることができてよかったです。」

――4コマ仕立てにしようと思ったのはなぜですか？  
「子育て日記をつけている方は多いですが、4コマのミニックで残す方はまずいないと思ったのです。

文字で書いているといつもと書ききたくなるし、どうしても主観的になりがちです。書いた時には満足するけれど、読み返す時に大変なエネルギーが必要ですし、とても他の人

には読ませられないですよね。絵にすればパッと見てわかるし、何回見ても疲れない。さらに、4コマにするとたいてい笑えるものになります。」

――4コマにするコツはありますか？  
「コツは、文字を少なくすることです。絵で表現できることは、全部絵で表現する。

4コマというのはかなり制限があるので、描きたいことがたくさんあっても、それを削って削ってまとめていく作業です。そうしているうちに、腹立たしいことでも気持ちが収まってきて、全部笑いに変わったります。心の整理ができるのでしょうね。自分の子育てを客観的に見られる良い機会ですね。

見られる良い機会です。」

――受講生のみなさん大満足のようでした。ご感想は？  
「絵を描いている間は静かなので、みなさんがどのように感じているのかわからなかつたのですが、喜んでいただけてうれしいです。

最後の3回目は全員の作品をみんなで鑑賞しました。批評はなし。見て笑って、この話よくわかる、可愛いねえ、こんなことあるあるなど、子育てのさまざまなことが、自分で思っておられることがあります。」

――区民が講師になるという“地域のチカラ講座”について。  
「台東区は人材が豊富だから、できることだと思います。自分が受講するとしたら、体を動かすエクササイズや外国語、モノ作りに興味があります。講師になれる方は大勢いらっしゃると思います。」